

日蓮大聖人御書全集

にしやまどのごへんじ

西山殿御返事

ゆきうるしごしよ

（雪漆御書）

新版
1951

にしやまどのごへんじ　ゆきうるしごしよ

西山殿御返事（雪漆御書）

けんじ

ねん

建治2年（'76）

さい

にしやまどの

55歳　西山殿

せいふごかんもん

た　そうら　お

青鳧五貫文、給び候い畢わんぬ。

そ

ゆきいた

しろ

染

染

うるしいた

夫れ、雪至つて白ければ、そむるにそめられず。漆至つ

黒

白

移

てくろければ、しろくなることなし。これよりうつりやす

ひと

こころ

ぜんあく

そうろう

しんごん

ぜん

ねんぶつしゅう

きは人の心なり。善悪にそめられ候。真言・禅・念仏宗

とう　じゃあく　もの

かなら

じごく

墮

ほけきょう

等の邪悪の者にそめられぬれば、必ず地獄におつ。法華経

たてまつ

かなら

ほとけ

成

きょう

い

しよほう

にそめられ奉れば、必ず仏になる。経に云わく「諸法

じつそう　うんぬん

い

ひとしん

ないしあびごく

い

実相」云々。また云わく「もし人信ぜずして乃至阿鼻獄に入

らん」云々。
うんぬん

いかにも御信心をば雪・漆のごとくに御もちあるべく
ごしんじん ゆき うるし おん持

候。恐々謹言。
そうろう きょうきようきんげん

建治二年丙子
けんじにねんひのえね

にしやまどのごへんじ

西山殿御返事

日蓮 花押
にちれん かおう